

アジアの営

成長市場に販売網

ドはグルガオン市に続く2拠点目、中国は6拠点となる。2年後までに、新拠点で、それぞれ20億円、10億円の売上を目指す。

インドの新拠点は現地法人「ユアサトレディンクインディア」のパンガロール支店として設置。インド南部の自動車や2輪メーカー向けに工作機械を販売する。支店長には飯田宏之氏が就任。

中国も現地法人「湯浅商事(上海)有限公司」の合肥分公司として設け

長率も15・4%と高い。合肥市は上海、重慶、広州などの中心拠点と内陸部への交通アクセスにも優れる。日系製造業を中心に工作機械や産業機器の販売を行い、2年後には10億円の売上を目指す。金子剛氏が所長に就く。

宮川工業

印に現地法人

R面取り機拡販

宮川工業(岐阜県関市、宮川治郎社長)は8月8日、インド西部のマハラシュトラ州プネーに、現地法人M I Y A K A W A K O G Y O , I N D I A P R I V A T E L I M I T E D を設立し、営業を開始した。

同社は、穴あけ用多軸アタッチメントをはじめ面取り機、造船や橋梁などの部材加工に対応した大型加工専用機を生産するメーカーで、「多軸の宮川」(世界8カ国、日本、米国、英国、ドイツ、台湾、ロシア、韓国、仏国の特許取得)のブランドは世界にも広く知られる。

主力の多軸アタッチメントの特徴は、一度に複数カ所の穴を同時加工するところであり、木工、家電・弱電、二輪・自動車、建設、橋梁、造船、航空機など各産業の発展に大きく貢献し、2009年には、新素材C F R P 用加工機開発で経済産業省からサポイン(戦略的基盤技術高度化支援事業)の採択を受け、難削材加工の道を広げた。



宮川社長



今回のインド進出は、宮川社長の多岐に渡る人脈の一環。多数のインドローカル企業の要望と協力の下に実現したもので、当面は「R面取り機」を主力販売先、現地の日

系企業以外のローカル企業に拡販する。近い将来は、コスト、為替、関税などのメリットを生かし、インドでの生産を行い、日本への製品供給と成長中のアジア市場への拡販を目指す」と、宮川社長は計画している。あわせて、人脈を生かして日本企業のインド進出の手伝

東京国際包装展

東京ビッグサイト 10月2日～5日

日本包装技術協会(東京)主催の「2012東京国際包装展」を、9月30日(金)～10月2日(日)の3日間、東京ビッグサイトの9小間と前回は上回る出展で開催する。

出展内容は、包装資材・容器、包装機械、印刷・包材加工機械、食品・医薬品加工機械、検査・計測・包装関連機械、流通・物流システム機器 & 住友電気工業社でセラミック工業

いも行う、としている。同社は、2012年創立50周年を迎え、J I M T O F 2 0 1 2 では「お陰様で多軸で50年」をテーマに出展を準備している。

サービスなどの演が行われ、各ムやセミナー

新型リベッター「R1B1」

ロブテックス 販売を開始

ロブテックス(東大阪市四条町、072・980・1111)はこのほど、操作性・利便性を劇的に向上させた「コードレスリベッター「R1B1」」を発売した。

同商品は使いやすさを重視し、作業者が無理なく使用できるように改良された。握りやすいグリップ、トリガースイッチ部とリベッターリング箇所の距離を近づけ、リベッターリングするポイントの狙いやすさなど設計・デザインを工夫。自動



車整備など入りにくい隙間でも作業しやすいため、作業効率改善を求めるユーザーに最適。リチウムイオンバッテリーを採用し、1チャージにおけるリベッターリング本数は従来機の4・7倍にもなる。

本体にはマンドレルコレクター付きで、設計に工夫が施され、マンドレルが自然な動作で回収できる構造になっており、スムーズな作業が可能になった。

従来は自動車修理や板金など現場作業で主に使用さ

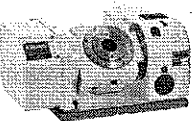
れていたが、操作性の向上から「自動電関連などの生産ラも使用してもらえ発担当者。製造業全及できる商品として期待を寄せている。

新商品ファイル

小型 MC に搭載できる円テーブル ユキワ精工

ユキワ精工(新潟県小千谷市、0258・81・1111)は、BT30番の小型マシンニングセンタに搭載できる「TNT170」を発売した。

クラス最大のクランプ力(回転軸:520N・m、傾斜軸:1,100N・m)を実現。また、エアハイドロ機構により強力にクランプできる。φ230の広い加工エリアを設け、様々なワークを搭載できる。



バーチカル Z ダイジェット工業

ダイジェット工業(大阪市平野区、06・6794・160)は、突出しが長い彫りや荒加工で安定した加工ができる「バーチカル Z」を発売した。

剛性と耐久性に優れたカットの本体(G-Body)や、厚みのあるチップを削り性が高くなるよう配列したことにより、加工時にびびらず安定した加工ができる。



主な用途は炭素鋼や合金鋼、工具鋼などの突き加工。

役員



関西

日本アイ・ティ・エフ 技 女

